

第 10 回 日・独ジョイントワークショップ
“フレキシブルエレクトロニクス”と“健康センサ”

2022 年 1 月 31 日

ドイツ時間 08:00-12:00, 日本時間 16:00-20:00

主 催: ドイツ連邦共和国ザクセン州経済振興公社、ザクセン州有機エレクトロニクス協議会、
国立大学法人 山形大学
場 所: オンライン開催

【開会挨拶 & 基調講演 08:00 – 08:30 CET / 16:00 – 16:30 JST】

08:00 CET/16:00 JST 開会挨拶 ドイツ・ザクセン州経済振興公社 総裁 Thomas Horn

08:05 CET/16:05 JST 来賓挨拶 ドイツ連邦共和国大使館 参事官 科学技術担当 Dr. Lothar Mennicken



08:10 CET/16:10 JST

Dr. Sandro F. Tedde, シーメンスヘルスケア株式会社
「プリント ペロブスカイト: 高性能医療用 X 線検出器への簡易経路」

【プレゼンテーション & ピッチ 08:30-11:00 CET / 16:30-19:00 JST】

<プレゼンテーション (フレキシブルエレクトロニクス) >

08:30 CET/16:30 JST

Ai Miura, Racing Driver, Satoshi Maeda, 東洋紡株式会社
「衣服型ウェアラブルデバイスによるバイタルセンシング」

08:40 CET/16:40 JST

Ivan Minev, Sheffield 大学
「細胞、神経、脳をつなぐ電子組織技術」

08:50 CET/16:50 JST

Manabu Ito, 凸版印刷株式会社
「高可撓性 IGZO TFT のセンサ応用」

09:00 CET/17:00 JST

Björn Lüsse, IMSAS, Bremen 大学
「多用途バイオセンシングのための有機電気化学トランジスタ」

09:10 CET/17:10 JST

Chisato Oyama, 株式会社小森コーポレーション
「グラビアオフセット印刷法によるマイクロバンプの形成」

09:20 CET/17:20 JST

Christoph Tondera, Leibniz Institute of Polymer Research Dresden
「マルチモーダル組織インターフェイスのための導電性高分子ヒドロゲル」

09:30 CET/17:30 JST

Kazuya Shiojiri, 株式会社ブイ・イー・ティー
「OLED 向け G8.5H FHM(高精細ハイブリッドマスク)のコンセプト」

09:40 CET/17:40 JST

Marco Fritsch, フラウンホーファー IKTS

「ハートビート - 薬剤開発へむけた心筋細胞モニタリング用プリントプラットフォーム」

— 休憩 —

< Pitches (Sensors for Health) >

10:00 CET/18:00 JST

Moe Tanaka, SEMITEC 株式会社

「SEMITEC センサの生物学的応用の紹介」

10:05 CET/18:05 JST

Caroline Murawski, Kurt Schwabe Institute for Measurement and Sensor Technology Meinsberg e.V.

「ニューロンとの結合のためのフレキシブル有機 LED」

10:10 CET/18:10 JST

Claudio Flores, Mimotype Technologies 社

「将来のウェアラブルに向けた生体模倣有機半導体材料」

10:15 CET/18:15 JST

Itaru Watanabe, 三菱ケミカル株式会社

「ヘルスケアセンサ用圧電フィルムの開発とビジネスの可能性」

10:20 CET/18:20 JST

Anja Talo, Enfucell Oy

"Printed batteries enabling new products for healthcare"

「ヘルスケア向け新製品を可能にするプリントバッテリー」

10:25 CET/18:25 JST

Denys Makarov, Helmholtz-Zentrum Dresden-Rossendorf e.V.

「フレキシブルかつ印刷可能な磁場センサ」

10:30 CET/18:30 JST

Kenji Nose (Ph.D.) and T. Takeda, 株式会社 UACJ

「オープン検出アルミニウムパッケージとその薬学的応用」

10:35 CET/18:35 JST

Konstantin Livanov, OrelTech

「次世代金属化技術」

10:40 CET/18:40 JST

Arved Hübler, pmTUC – ケムニッツ工科大学 Institute for Print & Media Technology

「プリントスピーカーアレイ-新市場開拓に向けたプリンテッドエレクトロニクスの改善方法」

10:45 CET/18:45 JST

Yoshiaki Awa, T&H デザイン株式会社

「プロトタイプ製作から量産まで「私たちはセンシング技術とアイデアを繋ぎます」

10:50 CET/18:50 JST

Jarosław Parzuchowski, Medmetric Sp. z o.o.

「AngioScore-シタックススコア自動評価のためのソフトウェアツール」

10:55 CET/18:55 JST

Meike Baumgarten, InnovationLab 社

「InnovationLab -プリントエレクトロニクスのワンストップショップ」

【ポスターセッション & 交流会 (Q&A) 11:00-12:00 CET / 19:00-20:00 JST】



挨拶

11:00 CET/19:00 JST

Prof. Junji Kido, 山形大学

— 記念撮影 —

＜ポスターセッション＞

- **Mark Abendroth, ELANTAS Europe 社**
「フレキシブルエレクトロニクス向け ELANTAS インクソリューション」
- **Aaron Cabrera Asensio, Mateprincs**
「MATEPRINCS -フレキシブルエレクトロニクス向けインク」
- **Michael Cerbe, TES-Frontdesign 社**
「TES- Frontdesign 技術と製品」
- **David Dewey, 藤倉化成株式会社**
「DOTITE - Ag / AgCl 伸縮性シリコーンペーストの紹介」
- **Andrea Glawe, KROENERT 有限合資会社**
「プリント大面積電子のための R2R 印刷プロセスおよび機械のコンセプト」
- **Lorenz Granrath, 東北大学 Smart Aging Research Center**
「スマートエイジングのための EU-日本バーチャルコーチに関するプロジェクト「e-VITA」の紹介」
- **Yuki Kawamura, 山形大学 YU-FIC**
「印刷条件の最適化による大変形できる樹脂シート上の印刷電極の開発」
- **Aniko Nagy, 3DMA - Prototypen & Sonderlösungen**
「3DMA - 次世代高級インテリアのための木材におけるハイテク」
- **Tobias Neumann, Nanomatch 社**
「励起子ダイナミクスのパラメータフリーシミュレーションによる有機センサの最適化」
- **Lars Rebohle, Helmholtz Innovation blitzlab, Helmholtz-Zentrum Dresden-Rossendorf**
「薄膜加工用の超短時間アニーリング」
- **Armin Reith, ザクセン州経済振興公社**
「世界をリードするマイクロエレクトロニクスと ICT 集積地としてのザクセン州」
- **Masaru Sakuma, スピン株式会社**
「R2R システムにおけるインプリント・グラビア印刷用着脱式マイクロパターンタイリングロール」
- **Kengo Kumada, Hisaki Tsuneyama, and Prof. Hisahiro Sasabe, 山形大学**
「確認中」
- **Pēteris Vulāns, SIA Systems Logistics**
「倉庫およびターミナルサービス」

- Lin Wang, 三星ダイヤモンド工業株式会社
「超薄板ガラスとステンレス箔を用いた OLED 照明用基板の切断加工」
- Christian Weisse, MCVE TECHNOLOGIE
「高容量フレキシブル回路の工業生産における革新」

<プレゼンテーション・ピッチ登壇者との交流会 (Q & A 含む)>

- Ai Miura, Racing Driver, Satoshi Maeda, 東洋紡株式会社
- Ivan Minev, Sheffield 大学
- Manabu Ito, 凸版印刷株式会社
- Björn Lüssem, IMSAS, Bremen 大学
- Chisato Oyama, 株式会社小森コーポレーション
- Christoph Tondera, Leibniz Institute of Polymer Research Dresden
- Kazuya Shiojiri, 株式会社ブイ・イー・ティー
- Marco Fritsch, フラウンホーファー IKTS Institute
- Moe Tanaka, SEMITEC 株式会社
- Caroline Murawski, Kurt Schwabe Institute for Measurement and Sensor Technology Meinsberg e.V.
- Caroline Murawski, Mimotype Technologies 社
- Itaru Watanabe, 三菱ケミカル株式会社
- Anja Talo, Enfucell Oy
- Denys Makarov, Helmholtz-Zentrum Dresden-Rossendorf e.V.
- Kenji Nose (Ph.D.) and T. TAKEDA, 株式会社 UACJ
- Konstantin Livanov, OrelTech
- Arved Hübler, pmTUC – ケムニッツ工科大学 Istitute for Print & Medie Technology
- Yoshiaki Awa, T&H デザイン株式会社
- Jarosław Parzuchowski, Medmetric Sp. z o.o.
- Meike Baumgarten, InnovationLab 社

司会進行および閉会:

ザクセン州有機エレクトロニクス協議会 Dr. Dominik Gronarz

山形大学 Prof. Tatsuhiro Takahashi

使用言語: 英語

Special Support by
SmaSys Secretariat members

